

# 四国ゴルフ連盟会報

No.68

発行/四国ゴルフ連盟

松山市福音寺町55-1

〒790-0921

TEL 089-990-3260

FAX 089-990-3261

## 年頭のごあいさつ

四国ゴルフ連盟 会長 大亀 孝裕



新年あけましておめでとうございます。

加盟倶楽部並びにゴルフ関係者の皆様には、輝かしい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年のゴルフ界は、四国アマや四国ジュニアを制した松山英樹選手が世界ランクで第2位に、また、同じく四国女子アマや四国ジュニアを制した鈴木愛選手が見事2017年LPGAツアー賞金女王になり、四国のジュニアで育った選手が大いに活躍するなど、四国から世界に通じる強い選手を輩出していることは大変喜ばしい限りです。

また、日本女子シニアや日本ミッドアマ選手権競技、そしてJGA杯J-sysゴルフ選手権での男女の優勝など、四国勢の活躍が目覚ましい年でありました。今年も引き続き、多くの四国勢の活躍を念願しております。

さて、昨今は少子高齢化に伴って、ゴルファー人口の減少に歯止めがかからず、ゴルフ界の現状は厳しいものがあります。

このような中、これからのゴルフ界の振興にとって最も大切なことは、ジュニアゴルファーの発掘育成だと考えております。このため、今年度はジュニア育成の取り組みとして、ジュニア競技の拡充や強化指定選手の中国連盟との対抗戦の実施など、特に、ジュニアの育成強化に取り組んでまいりたいと考えております。

また、多くのゴルファーが、もっとゴルフをいつまでもゴルフを楽しんでいただくことを課題として、連盟としても四国ゴルフ界の活性化に向けた新たな取り組みについて、皆様方とともに検討を進めてまいりたいと考えておりますので、ご協力、ご支援をお願いする次第です。

終わりに、加盟倶楽部のますますのご発展と皆様方のご健勝、ご活躍を祈念申し上げまして、新年のご挨拶といたします。

## 2018年度 四国ゴルフ連盟主催競技日程まとまる

2018年度 四国ゴルフ連盟主催競技日程

= 競技委員会 =

### 1. 本選競技

開催日			競技の名称	開催場所	
月	日	曜			
5	16~17	水~木	第38回四国女子アマチュアゴルフ選手権競技	松山ゴルフ倶楽部	愛媛
	22~25	火~金	第38回四国アマチュアゴルフ選手権競技	鮎滝カントリークラブ	香川
6	6	水	第3回四国女子シニアゴルフ大会	徳島カントリー倶楽部	徳島
7	24~25	火~水	第38回四国ジュニアゴルフ選手権競技	北条カントリー倶楽部	愛媛
	27	金	第13回四国小学生ゴルフ大会	新居浜カントリー倶楽部	愛媛
8	7	火	第38回四国クラブ対抗決勝競技	レオマ高原ゴルフ倶楽部	徳島
9	30~1	木~土	第48回中四国オープンゴルフ選手権競技	鷹の巣ゴルフ倶楽部	広島
	5~6	水~木	第25回四国ミッドシニアゴルフ選手権競技	Kochi黒潮カントリークラブ	高知
	5~6	水~木	第25回四国グランドシニアゴルフ選手権競技	Kochi黒潮カントリークラブ	高知
	26~27	水~木	第38回四国シニアゴルフ選手権競技	北条カントリー倶楽部	愛媛
10	17~18	水~木	第8回四国ミッドアマチュアゴルフ選手権競技	高松ゴールドカントリー倶楽部	香川
	24	水	第9回四国アンダーハンディキャップゴルフ競技	土佐山田ゴルフ倶楽部	高知
11	3	土	第7回四国ジュニアゴルフ学年別チャンピオン決定戦	新居浜カントリー倶楽部	愛媛
	6	火	第8回四国女子インタークラブ親善競技	土佐カントリークラブ 桂浜・室戸コース	高知

### 2. 予選及び関連競技

7/8	31~1	火~水	国民体育大会ゴルフ競技少年男子四国ブロック大会	パシフィックゴルフクラブ	高知
-----	------	-----	-------------------------	--------------	----

# 第7回四国ミッドアマチュアゴルフ選手権競技

徳島カントリー倶楽部 (10月19・20日)

## 井上貴弘選手 (kochi黒潮C) が優勝

各県予選を勝ち抜いた25歳以上の74名の選手が参加。2日間ともアンダーパーで回った井上選手が2位に7打差をつけ見事初優勝を飾りました。



井上貴弘 選手

### ●成績表 (6,826y Par72)

POS	PLAYER	CLUB	TOT
優勝	井上 貴弘 ☆	Kochi黒潮C	140
2	村上 敦 ☆	サンセットヒルズC	147
	黒川 博之 ☆	高松ゴールドC	147
4	二宮 慎堂 ☆	今治C	148
	西 勝弘 ☆	新居浜C	148
	小川 貴大 ☆	サンセットヒルズC	148
7	井上 智一 ☆	パシフィックG	149
	奥山慎一郎	鳴門C	149
9	横江 泰司	琴平C	150
10	尾崎 竜二	阿南C	151
	続木 仁	新居浜C	151
	高須賀幹由	道後G	151

☆日本ミッドアマ出場者

# 第8回四国アンダーハンディキャップゴルフ権競技

四国カントリークラブ (10月25日)

男子は長谷昌幸選手 (レオマ高原G)、

女子は松村富栄選手 (御所C) が優勝

●男子の部  
優勝



長谷昌幸 選手

●女子の部  
優勝



松村富栄 選手

JGA/USGA ハンディキャップシステムによるアンダーハンディキャップ競技であるこの大会は、ゴルフ愛好家である幅広い年齢層の男子99名、女子37名が参加。選手権競技と違った和やかな大会で、男子は長谷選手が、女子は松村選手が優勝しました。

### ●男子成績表

(6,048y Par72)

POS	PLAYER	CLUB	NET	HC	1R
優勝	長谷 昌幸	レオマ高原G	63	32	95
2	森宗妃呂幸	琴平C	66	22	88
3	佐藤 秀樹	レオマ高原G	66	6	72
4	村岡 光治	チサンC北条	67	18	85
5	中岡 昌美	レオマ高原G	67	9	76
6	中尾 忍	四国C	67	4	71
7	小野寺武夫	レオマ高原G	68	15	83
8	美濃 健二	こんぴらLG	68	12	80
9	佐藤 忠則	西徳島G	69	4	73
10	松岡 高雄	新伊予G	69	13	82

### ●女子成績表

(5,129y Par72)

POS	PLAYER	CLUB	NET	HC	1R
優勝	松村 富栄	御所C	65	27	92
2	宇城真由美	鳴門C	66	7	73
3	田邊みちこ	チサンC北条	67	14	81
4	織田三千代	スカイベイG	68	11	79
5	高橋 瑠羽	鳴門C	70	15	85
6	中谷 明美	サンセットヒルズC	70	10	80
7	越智 知子	サンセットヒルズC	71	11	82
8	榊原 晴美	土佐C	71	15	86
9	高井由里子	レオマ高原G	71	20	91
10	岸井 恵子	松山ロイヤルG	71	13	84

# 第6回四国ジュニアゴルフ学年別チャンピオン決定戦

新居浜カントリー倶楽部 (11月5日)

四国独自の取り組みであり、将来に向けて大きなステップアップとなる学年別チャンピオン決定戦は、ジュニアゴルファー男子44名、女子36名が参加して行われました。新チャンピオンは下表のとおりです。

中学3年	男子	多田 旺生	上板 中	72
	女子	田村 和	北条 北中	76
中学2年	男子	高橋 和浩	高松第一中	68
	女子	都 玲華	生光学園中	77
中学1年	男子	田村 軍馬	北条 北中	78
	女子	川上 知夏	松山 旭中	75
小学6年	男子	竹内 康晴	和気 小	73
	女子	該当なし		
小学5年	男子	松井琳空海	高津 小	72
	女子	小林 桃幸	川島 小	77



各学年優勝者

# 第7回四国女子インタークラブ親善競技

道後ゴルフ倶楽部 (11月21日)

## 屋島カントリークラブAが3連覇

29クラブ36チームが参加して行われたこの大会は、屋島カントリークラブAチームが見事3連覇を果たしました。

また、親善の部(アンダーハンディキャップ)ではスカイベイゴルフクラブが優勝、個人成績では、二宮歌奈子選手(今治CC)がベストグロスを獲得しました。



屋島カントリークラブ

### ●グロス競技の部 成績表

(5,325y Par72)

POS	CLUB	S	PLAYER	T	O	I	PLAYER	T	O	I	PLAYER	T	O	I	PLAYER	T	O	I
優勝	屋島CC A	235	川西 章子	76	37	39	古本 裕美	78	39	39	堂西亜希子	81	41	40	村田 直子	81	41	40
2位	屋島CC B	238	東本 千里	76	37	39	三好 美貴	79	41	38	中山 紀子	83	42	41	日笠 里華	83	44	39
3位	今治CC	238	二宮歌奈子	72	36	36	二宮 薫	78	41	37	宮道 可子	88	46	42	越智 恭子	90	46	44
4位	松山シーサイドCC	240	高橋英里子	75	35	40	高橋 美帆	79	42	37	仙波 信子	86	41	45	横田 綾	102	50	52
5位	琴平CC A	242	掛水 直美	78	39	39	松田 富美	82	41	41	青木 仁美	82	43	39	向井香津子	84	42	42

### ●親善競技の部 成績表

POS	CLUB	S	PLAYER	N	G	H	PLAYER	N	G	H	PLAYER	N	G	H	PLAYER	N	G	H
優勝	スカイベイGC A	212	尾藤 留美	67	80	13	織田三千代	70	82	12	中越 久美	75	86	11	藤原 裕子	76	89	13
2位	鳴門CC	212	山本 明子	69	82	13	岡山 晴美	71	114	43	宇城真由美	72	79	7	加藤 明美	79	93	14
3位	高原GC	213	中谷 京子	62	90	28	浅野 公子	75	97	22	宮内たえ子	76	94	18	露口 啓子	77	99	22
4位	宇和島CC	213	百合田美樹	57	78	21	島瀬 靖子	76	83	7	松澤 具子	80	92	12	公受貴久美	83	85	2
5位	土佐CC B	214	竹内 麗子	65	80	15	田邊 澄	71	91	20	中村 奈緒	78	95	17	佐田 裕子	81	110	29

## 四国地区選手の活躍

本年度は四国選手の活躍が目覚ましく、第25回日本女子シニアゴルフ選手権競技で三木逸子選手（土佐CC）が7度目の栄冠を、第22回日本ミッドアマチュアゴルフ選手権競技では井上貴弘選手（kochi黒潮CC）が優勝したほか、上位3人を四国勢が占めました。また、JGA杯 J-sys ゴルフ選手権では小野寺武夫選手（レオマ高原GC）、高橋瑠羽選手（鳴門CC）と男女とも四国勢が見事優勝しました。

また、第3回8地区強化指定選手チーム対抗戦では、女子チーム（大西菜生・手束雅・木内真衣選手）が嬉しい初優勝、個人でも大西菜生選手が初戴冠を決めました。

### ギヤラリー席

今回はセット・アップについて書いてみます。これはスイングの前にする一連の動作で、足場を決め、方向を定め、何度かワググルし、呼吸を静め、それからショットします。しかし、他のティグラウンド以外の場合では、これほど慎重ではなく打ってしまいます。皆さん1点でもスコアを良くしようと思ったら、いつでもこのセット・アップを大事にすることです。打った後にしまったと思うよりも、打つ前こそセット・アップを大事にすることです。前上がり、前下がり場所では、クラブの底辺の線を合わせるだけではだめで、面まで合わせないとだめです。極端に前上がりや前下がり合わせてみてください。面はよそを向いています。

また、ボールの位置が大事で、昔、ニクラウスは「私はボールの位置を大事にする。だからスタンスを変えずにボールの位置だけでスライスもフックも打てるのだ」と言っていました。これはパットでもいえることで、3日目や4日目になり疲れてくると、誰でもパットの時に前屈みになりボールの位置が狂ってくるのです。そのために短いパットほど影響を受けるので、短いパットが入らなくなります。昔から「賢いプレイヤーは打つ前に考え、愚かなものは打った後で考える」という言葉があります。

また、ボールが障害物に入った時、そこから一度、いい場所に出してから打つのが本当のリカバリーショットです。そんな時こそセット・アップが大事になります。

最近の競技で感じることは、ネバーアップ、ネバーインという言葉です。プロでも寸足らずのパットが多いですね。このセット・アップについては、どこでも特に不整地から打つ時にはよく考えてください。あなたのスコアを一つでも助けます。

また、緊張と集中は別のもので、コチコチに緊張していたら絶対に良いスコアは出ません。このことはまたの機会に書きます。（手島皓一）

### 〈事務局からのお知らせ〉

#### ◇理事会・総会の日程

2月2日（金）に国際ホテル松山にて開催します。

#### ◇ジュニア選手の強化

ジュニア選手強化のため、強化指定選手の中国連盟との対抗戦を始めました。今年度は、11月18・19日の2日間、三原カンツリークラブで行いましたが、来年度からも定期的実施していきます。

